



データセンター福岡空港

DATA CENTER FUKUOKA AIRPORT

大切なものほど距離をおく。企業の情報財産は福岡へ。

ベストロケーション&ベストファシリティの

データセンター福岡空港が、BCPに最適な分散拠点として、

お客様のビジネスをサポート。



九州電力グループ

株式会社 キューデータインフラコム

092-771-8519

MAIL: qic-info@qidc.ne.jp

URL: <http://www.qic.co.jp>

Qic

検索

Why Fukuoka?

福岡が選ばれる3つの理由

① 低い災害リスク

2017年4月に地震調査研究推進本部が公表した「今後30年間に
おける震度6弱以上の揺れに見舞われる確率」において、福岡の確率は
8.2%と全国の主要都市と比較しても大幅に低い安全な都市です。

② 便利なアクセス

日本で最も便利な福岡空港から徒歩約15分の場所に位置し、空路
でのアクセスが非常に便利です。最寄駅の福岡空港には地下鉄が
直結しており、九州最大のターミナルである博多駅までわずか5分、
九州一の繁華街天神も11分と市内の移動も大変便利です。

③ ビジネスに適した街

福岡は、便利な交通機関、安くて美味しい食事、長期滞在にも快適な住環境
など、移・食・住が整ったビジネスに最適な街です。更に主要ベンダーの
保守拠点多く、保守部品の調達やエンジニアの確保が容易にできます。

Specification

データセンタースペック

名称	データセンター福岡空港
所在地	福岡県(福岡空港より徒歩約15分)
運開	2015年9月
延床面積	約3,700㎡
ラック数	約600ラック
建物構造	建物免震
床荷重	約2,000kg/㎡
床下	約700mm
天井高	約2,600mm(フリーアクセス面より)
昇降設備	約2,000kg
機器搬入口	4tトラックアクセス可
電力使用効率	PUE=1.5程度

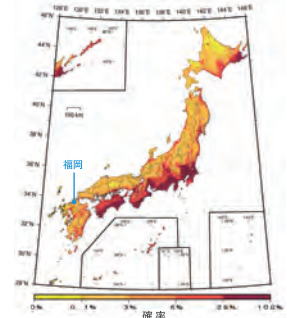
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
(2017年版、平均ケース、全地震)

都市名*	確率
東京	47%
横浜	81%
名古屋	46%
大阪	56%
広島	23%
福岡	8.2%

*県庁所在地市役所周辺、東京は都庁

出典:「全国地震動予測地図 2017年版」(地震調査研究推進本部)

確率論的地震動予測地図: 確率の分布



東京から

✈ 約2時間・60往復/日
(羽田~福岡)

名古屋から

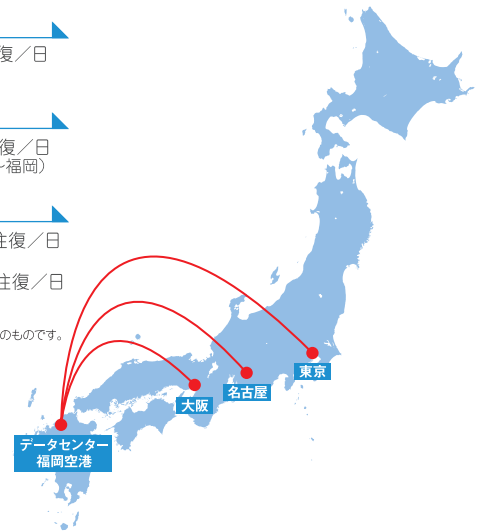
✈ 約2時間・15往復/日
(中部国際・小牧~福岡)

大阪から

✈ 約1.5時間・10往復/日
(伊丹~福岡)

🚄 約2.5時間・80往復/日
(新大阪駅~博多)

運行数は、2016年11月現在のものです。



受電	特別高圧22kV(異変電所2系統受電)
電源設備	無停電電源装置:冗長構成 非常用発電機:冗長構成 無給油連続運転時間:72時間
供給電力	6kVA、20kVA(最大)
空調設備	冗長構成
火災対策	超高感度煙検知器、窒素ガス消火設備
付帯設備	サーバアクセスブース、カフェラウンジなど
セキュリティ	24時間365日有人監視 各種ゲート、生体認証、監視カメラなど
通信回線	キャリアフリー、複数系統により引込
適合基準	JDCCティア4適合、FISC安全対策基準準拠

For human

「人」にやさしい快適なデータセンター

